

ORBIS、宅配ボックス 5,000 個をモニター配布 株式会社ナスタ協力のもと、再配達低減に向けた 業界最大規模の実証実験を 7 月より実施



モニター配布する宅配ボックスと設置イメージ

ORBIS株式会社(本社：東京都品川区、社長：小林 琢磨)は、宅配クライシスの主要因として社会課題となっている再配達の低減を目的とし、業界最大規模となる顧客 5,000 名を対象にしたオリジナルの宅配ボックスのモニター配布を 7 月に実施します。

ORBISは 18 年の新ORBISユー発売とともに新たなブランドメッセージ「こちを美しく。」を掲げており、通信販売における商品の受け渡しの場面でもストレスの無いスマートな受け取りの実現により、社会課題の解決と顧客利便性の向上を目指していきます。

近年のEC市場の拡大に伴い宅配便の取り扱い個数が増加するなか、その約 2 割が再配達にまわっていると言われていいます。そのため、トラックドライバーの労働時間のうち年間約 1.8 億時間（年間約 9 万人相当）が余分に消費されている試算となり^{※1}、近年顕在化したいわゆる「宅配クライシス」を深刻化させている大きな要因の一つとなっています。 ※1:国土交通省 HP より

そのような中、「再配達を減らすための有効な手段」に関する世論調査では「宅配ボックスの設置」は 2 番目に多いという結果もあり^{※2}、「2019 年“ヒット予想”ランキング」では女性部門(50～59 歳)では第 2 位、全体でも第 4 位に宅配ボックス挙がっています^{※3}。 ※2:内閣府「再配達問題に関する世論調査」 ※3:博報堂生活総合研究所調べ

購入手段は便利になる一方、受け取りは対面で行わねばならず、そのストレスが再配達の増加にもつながっているという現状を踏まえ、荷主側であるORBISとしても再配達率の低減に向けて様々な方法を模索してきました。そこで今回、効果実証および顧客の利便性向上を目的とし、オリジナルの宅配ボックスを 5,000 個製作、3 月以降に年間購入金額の高い会員顧客に対しモニター参加についての応募を受け付け、抽選のうえ 7 月（予定）に配布します。

宅配ボックスは株式会社ナスタ(東京都港区、社長：笹川 順平)が企画・製作した布製の簡易設置タイプで、ORBISのオリジナルデザインが施されており、ORBIS以外の荷物も受け取ることができます。モニター対象顧客は宅配ボックスを受け取り後、3 ヶ月後を目処に利用に関するアンケートに回答、ORBISはそれらの結果を確認し、効果が認められた場合は将来的に販売を検討する等、通販利用者が感じる不便さを解消する体験価値を提供するとともに、宅配クライシスの解決に取り組んでいきます。

本件に関するお問い合わせ先 ORBIS株式会社 (撮影用商品、画像データもご用意しております)

【報道関係者】 TEL：03-3788-3937/FAX：03-3788-7463 商品 PR 担当：島野、小池、小林、川越 (orbis-pr@orbis.co.jp)

【消費者】  0120-010-010